



平成 26 年 12 月 12 日

各 位

会社名 オカモト株式会社  
代表者名 代表取締役社長 岡本 良幸  
(コード番号 5122 東証第 1 部)  
問合せ先 取締役総務部長 有坂 衛  
(TEL. 03-3817-4121)

(訂正)「平成 25 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について

当社は、平成 26 年 10 月 30 日付適時開示「不適切な会計処理の判明について」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 25 年 2 月 6 日付「平成 25 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場会社名 オカモト株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5122 URL <http://www.okamoto-inc.jp/>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 良幸  
問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)高島 寛 (TEL)03-3817-4121  
四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	53,646	3.4	2,975	25.4	3,627	31.7	2,199	33.8
24年3月期第3四半期	51,870	1.9	2,373	△23.2	2,754	△10.3	1,643	△15.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,549百万円(353.5%) 24年3月期第3四半期 562百万円(△57.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	21.16	—
24年3月期第3四半期	15.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	70,109	39,743	56.7
24年3月期	68,972	38,514	55.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 39,743百万円 24年3月期 38,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
25年3月期	—	3.75	—		
25年3月期(予想)				3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,500	2.5	3,000	20.4	3,200	8.6	1,900	28.1	18.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	108,996,839株	24年3月期	108,996,839株
25年3月期3Q	5,876,144株	24年3月期	4,153,859株
25年3月期3Q	103,923,753株	24年3月期3Q	106,671,480株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
(4) 追加情報	<u>P. 4</u>
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要等を背景にゆるやかに回復傾向がみられたものの、長期化する欧州の債務問題や中国経済の減速に伴う輸出や生産の減少、円高の長期化や個人消費の低迷など企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このような状況下で当社グループは、国内での営業力の更なる強化に努め、製造コストと営業経費の削減に引き続き注力し、売上高の伸長が大きく望めない環境下でも営業利益を確保できる体制作りに邁進してまいりました。

結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は536億46百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益は29億75百万円(前年同期比25.4%増)、経常利益は36億27百万円(前年同期比31.7%増)、四半期純利益は21億99百万円(前年同期比33.8%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 産業用製品

一般フィルムは、海外需要の低迷により工業用等が減少したものの、文具用・建材用等の受注が堅調だったため、売上増となりました。農業用フィルムは、作物市況が低迷したものの、拡販施策により売上微増となりました。壁紙は、住宅着工件数の増加により、売上増となりました。フレキシブルコンテナは、震災復興関連の需要が増加し、売上増となりました。自動車内装材は、自動車メーカーの生産が昨年比に比べ順調で、特に北米での新車種増産により、売上増となりました。粘着テープは、住宅用が堅調だったものの、国内需要の減少による販売競争激化により、売上横ばいとなりました。工業用テープは、スマートフォン関連が堅調だったものの、電材業界の低迷により、売上微減となりました。食品衛生関連商品においては、依然として市況は厳しいものの、商権回復により、売上増となりました。食品保存用ピチット製品は、震災の復興により一昨年並みに需要が回復し、売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は304億93百万円(前年同期比5.7%増)、セグメント利益は14億13百万円(前年同期比13.4%増)となりました。

#### ② 生活用品

コンドームは、市場が縮小傾向にあるものの、薄物の企画・販売が堅調で、売上増となりました。カイロは、売場への導入が遅れ、気温の低下とともに販売が伸びましたが、売上減となりました。除湿剤は、気温の低下により売場が縮小され、売上横ばいとなりました。滅菌器は、前年並みの売上となりました。手袋は、食品用・医療用・作業用が好調だったものの、産業用がIT・IC関連の需要低迷の影響で、売上減となりました。シューズは、高付加価値商品の拡販と冬物商品が順調に販売されたため、売上は堅調に推移しました。雨衣・ブーツ類は、積極的な販売政策のもと新規取引先が増加し、また寒波の影響で防寒用が好調だったため、売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は231億51百万円(前年同期比0.5%増)、セグメント利益は25億23百万円(前年同期比19.6%増)となりました。

#### ③ その他

当セグメントの売上高は1百万円(前年同期比336.4%増)、セグメント利益は1億13百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は701億9百万円で、前連結会計年度末と比べ11億37百万円増加しております。

流動資産は426億32百万円で、前連結会計年度末と比べ1億9百万円の増加となりました。これは主として、受取手形及び売掛金17億78百万円、商品及び製品3億73百万円が増加し、現金及び預金が23億85百万円減少したことによるものです。

固定資産は274億77百万円で、前連結会計年度末と比べ10億28百万円の増加となりました。これは主として、投資有価証券が11億5百万円増加したことによるものです。

## ② 負債

当第3四半期連結会計期間末における総負債は303億65百万円で、前連結会計年度末と比べ91百万円減少しております。

流動負債は245億93百万円で、前連結会計年度末と比べ3億95百万円の減少となりました。これは主として、1年内償還予定の社債15億円、1年内返済予定の長期借入金10億円、賞与引当金3億69百万円が減少し、支払手形及び買掛金7億19百万円、短期借入金20億15百万円が増加したことによるものです。

固定負債は57億72百万円で、前連結会計年度末と比べ3億3百万円増加しております。これは主として、退職給付引当金が2億54百万円増加したことによるものです。

## ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は397億43百万円で、前連結会計年度末と比べ12億29百万円増加しております。これは主として、利益剰余金14億16百万円、自己株式5億37百万円が増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績につきましては、最近の決算短信(平成24年5月11日発表)により開示を行った業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(不適切な会計処理について)

当社静岡工場において、不適切な会計処理が判明したことから、外部の専門家で構成される第三者委員会を設置し調査を進めてまいりました。

その結果、過去に行われた取引の一部に関して不適切な会計処理が確認されました。

(訂正報告書の提出について)

当社の不適切な会計処理について、当社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき過去に提出いたしました四半期報告書に記載されている四半期連結財務諸表に含まれる不適切な会計処理を訂正し、四半期報告書の訂正報告書を提出することを決定しました。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,632	7,247
受取手形及び売掛金	21,682	23,460
商品及び製品	<u>6,515</u>	<u>6,889</u>
仕掛品	<u>1,317</u>	<u>1,346</u>
原材料及び貯蔵品	<u>1,549</u>	<u>1,702</u>
その他	<u>1,848</u>	<u>2,009</u>
貸倒引当金	△22	△22
流動資産合計	<u>42,523</u>	<u>42,632</u>
固定資産		
有形固定資産	14,877	14,664
無形固定資産	273	176
投資その他の資産		
投資有価証券	10,649	11,754
その他	<u>867</u>	<u>1,084</u>
貸倒引当金	△23	△7
投資損失引当金	△195	△195
投資その他の資産合計	<u>11,298</u>	<u>12,636</u>
固定資産合計	<u>26,448</u>	<u>27,477</u>
資産合計	<u>68,972</u>	<u>70,109</u>



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,723	17,442
1年内償還予定の社債	1,500	—
短期借入金	1,027	3,042
1年内返済予定の長期借入金	1,000	—
未払法人税等	756	878
賞与引当金	753	383
その他	3,227	2,845
流動負債合計	24,988	24,593
固定負債		
退職給付引当金	3,593	3,847
その他	1,876	1,925
固定負債合計	5,469	5,772
負債合計	30,457	30,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	359	359
利益剰余金	23,690	25,107
自己株式	△1,436	△1,974
株主資本合計	35,661	36,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,589	3,927
繰延ヘッジ損益	10	18
為替換算調整勘定	△746	△742
その他の包括利益累計額合計	2,853	3,203
純資産合計	38,514	39,743
負債純資産合計	68,972	70,109

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	51,870	53,646
売上原価	39,928	41,485
売上総利益	11,941	12,161
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,299	2,381
その他の販売費	2,102	1,839
給料及び賞与	2,236	2,404
賞与引当金繰入額	348	154
退職給付引当金繰入額	121	109
貸倒引当金繰入額	3	—
その他の一般管理費	2,455	2,297
販売費及び一般管理費合計	9,568	9,185
営業利益	2,373	2,975
営業外収益		
受取利息	7	16
受取配当金	303	295
不動産賃貸料	362	314
為替差益	—	106
その他	153	120
営業外収益合計	826	853
営業外費用		
支払利息	47	36
不動産賃貸費用	125	106
為替差損	213	—
その他	59	57
営業外費用合計	445	201
経常利益	2,754	3,627
特別利益		
固定資産売却益	—	7
投資有価証券売却益	40	147
その他	—	11
特別利益合計	40	167
特別損失		
固定資産除却損	5	6
減損損失	26	—
投資有価証券売却損	21	5
災害による損失	12	14
環境対策費	44	—
特別損失合計	111	25
税金等調整前四半期純利益	2,684	3,768
法人税、住民税及び事業税	708	1,511
過年度法人税等	—	71
法人税等調整額	331	△13
法人税等合計	1,040	1,569
少数株主損益調整前四半期純利益	1,643	2,199
四半期純利益	1,643	2,199

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,643	2,199
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△893	333
繰延ヘッジ損益	△13	8
為替換算調整勘定	△175	4
持分法適用会社に対する持分相当額	1	3
その他の包括利益合計	△1,081	350
四半期包括利益	562	2,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	562	2,549
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,843	23,026	51,870	0	51,870	—	51,870
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	205	220	2,451	2,672	△2,672	—
計	28,858	23,232	52,090	2,452	54,542	△2,672	51,870
セグメント利益	<u>1,246</u>	2,110	<u>3,356</u>	112	<u>3,469</u>	△1,095	<u>2,373</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,095百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,107百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	<u>30,493</u>	23,151	<u>53,645</u>	1	<u>53,646</u>	—	<u>53,646</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26	200	226	2,475	2,701	△2,701	—
計	<u>30,520</u>	23,351	<u>53,871</u>	2,476	<u>56,348</u>	△2,701	<u>53,646</u>
セグメント利益	<u>1,413</u>	2,523	<u>3,937</u>	113	<u>4,050</u>	△1,075	<u>2,975</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,075百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,084百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(訂正前)



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場会社名 オカモト株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5122 URL <http://www.okamoto-inc.jp/>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 良幸  
問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)高島 寛 (TEL)03-3817-4121  
四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	53,656	3.4	3,151	30.0	3,803	35.6	2,314	38.3
24年3月期第3四半期	51,870	1.9	2,423	△21.6	2,804	△8.7	1,673	△14.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,664百万円(350.3%) 24年3月期第3四半期 591百万円(△55.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第3四半期	円 銭 22.27	円 銭 —
24年3月期第3四半期	円 銭 15.69	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年3月期第3四半期	百万円 70,261	百万円 39,895	% 56.8
24年3月期	百万円 69,008	百万円 38,550	% 55.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 39,895百万円 24年3月期 38,550百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 7.50
25年3月期	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
25年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,500	2.5	3,000	17.5	3,200	6.3	1,900	24.4	18.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	108,996,839株	24年3月期	108,996,839株
25年3月期3Q	5,876,144株	24年3月期	4,153,859株
25年3月期3Q	103,923,753株	24年3月期3Q	106,671,480株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要等を背景にゆるやかに回復傾向がみられたものの、長期化する欧州の債務問題や中国経済の減速に伴う輸出や生産の減少、円高の長期化や個人消費の低迷など企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このような状況下で当社グループは、国内での営業力の更なる強化に努め、製造コストと営業経費の削減に引き続き注力し、売上高の伸長が大きく望めない環境下でも営業利益を確保できる体制作りに邁進してまいりました。

結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は536億56百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益は31億51百万円(前年同期比30.0%増)、経常利益は38億3百万円(前年同期比35.6%増)、四半期純利益は23億14百万円(前年同期比38.3%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 産業用製品

一般フィルムは、海外需要の低迷により工業用等が減少したものの、文具用・建材用等の受注が堅調だったため、売上増となりました。農業用フィルムは、作物市況が低迷したものの、拡販施策により売上微増となりました。壁紙は、住宅着工件数の増加により、売上増となりました。フレキシブルコンテナは、震災復興関連の需要が増加し、売上増となりました。自動車内装材は、自動車メーカーの生産が昨年比に比べ順調で、特に北米での新車種増産により、売上増となりました。粘着テープは、住宅用が堅調だったものの、国内需要の減少による販売競争激化により、売上横ばいとなりました。工業用テープは、スマートフォン関連が堅調だったものの、電材業界の低迷により、売上微減となりました。食品衛生関連商品においては、依然として市況は厳しいものの、商権回復により、売上増となりました。食品保存用ピチット製品は、震災の復興により一昨年並みに需要が回復し、売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は305億3百万円(前年同期比5.8%増)、セグメント利益は15億89百万円(前年同期比22.6%増)となりました。

#### ② 生活用品

コンドームは、市場が縮小傾向にあるものの、薄物の企画・販売が堅調で、売上増となりました。カイロは、売場への導入が遅れ、気温の低下とともに販売が伸びましたが、売上減となりました。除湿剤は、気温の低下により売場が縮小され、売上横ばいとなりました。滅菌器は、前年並みの売上となりました。手袋は、食品用・医療用・作業用が好調だったものの、産業用がIT・IC関連の需要低迷の影響で、売上減となりました。シューズは、高付加価値商品の拡販と冬物商品が順調に販売されたため、売上は堅調に推移しました。雨衣・ブーツ類は、積極的な販売政策のもと新規取引先が増加し、また寒波の影響で防寒用が好調だったため、売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は231億51百万円(前年同期比0.5%増)、セグメント利益は25億23百万円(前年同期比19.6%増)となりました。

#### ③ その他

当セグメントの売上高は1百万円(前年同期比336.4%増)、セグメント利益は1億13百万円(前年同期比1.0%増)となりました。



## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は702億61百万円で、前連結会計年度末と比べ12億52百万円増加しております。

流動資産は427億80百万円で、前連結会計年度末と比べ2億24百万円の増加となりました。これは主として、受取手形及び売掛金17億78百万円、商品及び製品3億60百万円が増加し、現金及び預金が23億85百万円減少したことによるものです。

固定資産は274億80百万円で、前連結会計年度末と比べ10億28百万円の増加となりました。これは主として、投資有価証券が11億5百万円増加したことによるものです。

## ② 負債

当第3四半期連結会計期間末における総負債は303億65百万円で、前連結会計年度末と比べ91百万円減少しております。

流動負債は245億93百万円で、前連結会計年度末と比べ3億95百万円の減少となりました。これは主として、1年内償還予定の社債15億円、1年内返済予定の長期借入金10億円、賞与引当金3億69百万円が減少し、支払手形及び買掛金7億19百万円、短期借入金20億15百万円が増加したことによるものです。

固定負債は57億72百万円で、前連結会計年度末と比べ3億3百万円増加しております。これは主として、退職給付引当金が2億54百万円増加したことによるものです。

## ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は398億95百万円で、前連結会計年度末と比べ13億44百万円増加しております。これは主として、利益剰余金15億31百万円、自己株式5億37百万円が増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績につきましては、最近の決算短信(平成24年5月11日発表)により開示を行った業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,632	7,247
受取手形及び売掛金	21,682	23,460
商品及び製品	<u>6,508</u>	<u>6,869</u>
仕掛品	<u>1,391</u>	<u>1,588</u>
原材料及び貯蔵品	<u>1,553</u>	<u>1,718</u>
その他	<u>1,809</u>	<u>1,919</u>
貸倒引当金	△22	△22
流動資産合計	<u>42,556</u>	<u>42,780</u>
固定資産		
有形固定資産	14,877	14,664
無形固定資産	273	176
投資その他の資産		
投資有価証券	10,649	11,754
その他	<u>871</u>	<u>1,088</u>
貸倒引当金	△23	△7
投資損失引当金	△195	△195
投資その他の資産合計	<u>11,301</u>	<u>12,639</u>
固定資産合計	<u>26,452</u>	<u>27,480</u>
資産合計	<u>69,008</u>	<u>70,261</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,723	17,442
1年内償還予定の社債	1,500	—
短期借入金	1,027	3,042
1年内返済予定の長期借入金	1,000	—
未払法人税等	756	878
賞与引当金	753	383
その他	3,227	2,845
流動負債合計	24,988	24,593
固定負債		
退職給付引当金	3,593	3,847
その他	1,876	1,925
固定負債合計	5,469	5,772
負債合計	30,457	30,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	359	359
利益剰余金	23,733	25,265
自己株式	△1,436	△1,974
株主資本合計	35,704	36,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,582	3,920
繰延ヘッジ損益	10	18
為替換算調整勘定	△746	△742
その他の包括利益累計額合計	2,846	3,196
純資産合計	38,550	39,895
負債純資産合計	69,008	70,261

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	51,870	53,656
売上原価	39,878	41,319
売上総利益	11,991	12,336
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,299	2,381
その他の販売費	2,102	1,839
給料及び賞与	2,236	2,404
賞与引当金繰入額	348	154
退職給付引当金繰入額	121	109
貸倒引当金繰入額	3	—
その他の一般管理費	2,455	2,297
販売費及び一般管理費合計	9,568	9,185
営業利益	2,423	3,151
営業外収益		
受取利息	7	16
受取配当金	303	295
不動産賃貸料	362	314
為替差益	—	106
その他	153	120
営業外収益合計	826	853
営業外費用		
支払利息	47	36
不動産賃貸費用	125	106
為替差損	213	—
その他	59	57
営業外費用合計	445	201
経常利益	2,804	3,803
特別利益		
固定資産売却益	—	7
投資有価証券売却益	40	147
その他	—	11
特別利益合計	40	167
特別損失		
固定資産除却損	5	6
減損損失	26	—
投資有価証券売却損	21	5
災害による損失	12	14
環境対策費	44	—
特別損失合計	111	25
税金等調整前四半期純利益	2,733	3,944
法人税、住民税及び事業税	708	1,511
過年度法人税等	—	71
法人税等調整額	351	47
法人税等合計	1,060	1,630
少数株主損益調整前四半期純利益	1,673	2,314
四半期純利益	1,673	2,314

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,673	2,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△893	333
繰延ヘッジ損益	△13	8
為替換算調整勘定	△175	4
持分法適用会社に対する持分相当額	1	3
その他の包括利益合計	△1,081	350
四半期包括利益	591	2,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	591	2,664
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,843	23,026	51,870	0	51,870	—	51,870
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	205	220	2,451	2,672	△2,672	—
計	28,858	23,232	52,090	2,452	54,542	△2,672	51,870
セグメント利益	<u>1,295</u>	2,110	<u>3,406</u>	112	<u>3,519</u>	△1,095	<u>2,423</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,095百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,107百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	<u>30,503</u>	23,151	<u>53,655</u>	1	<u>53,656</u>	—	<u>53,656</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26	200	226	2,475	2,701	△2,701	—
計	<u>30,530</u>	23,351	<u>53,881</u>	2,476	<u>56,358</u>	△2,701	<u>53,656</u>
セグメント利益	<u>1,589</u>	2,523	<u>4,112</u>	113	<u>4,226</u>	△1,075	<u>3,151</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,075百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,084百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。